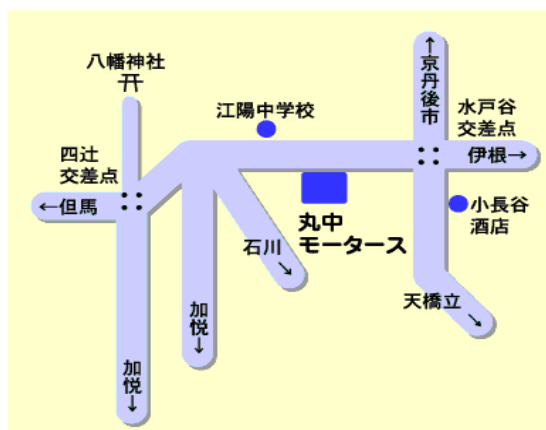
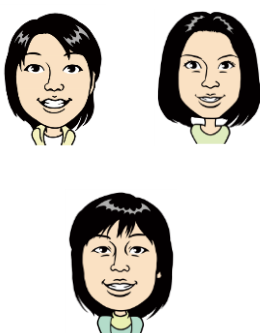
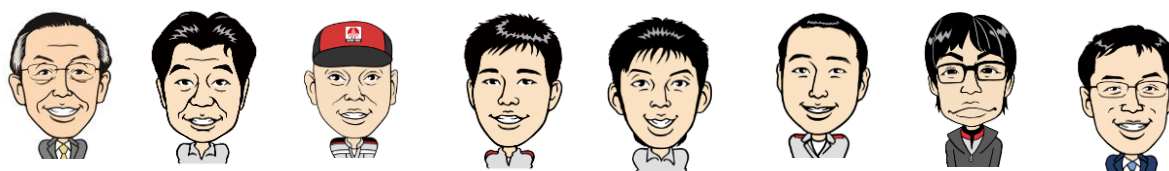


車にやさしい思いやり

有限会社 丸中モータース商会

環境経営レポート

(活動期間 令和5年度:令和5年7月~令和6年6月)



作成日: 2024年7月10日

企業理念および環境理念

当社は京都府北部の丹後地方（与謝野町上山田）で、初代社長が昭和8年創業して以来91年を迎え、お陰様で皆様の生活と共に歩んでまいりました。

初代社長は丸中モータースとして創業、自転車、外車のオートバイ&一部の外車の修理、電力不足のため丹後ちりめんの織機の動力としての発動機販売整備、更に時代が進み、原付自転車（ミニフリー号）、オートバイ等の販売整備、そして昭和38年11月有限会社 丸中モータース商会となり、その前後より、自動車の普及がすすみ、地方でも人々の足として急激に増加いたしました。

以来、車の販売、整備、保険を始めてはや40年を超え、皆様の車生活の応援団をめざし頑張っております。

お客様の自動車乗り替えサイクルは時代の流れもありますが、車のエンジン・ボディの性能・機能及び各構成部品の精度の向上により更に長くなり8年から9年、10年とも言われております。しかし、車の機能・性能及び部品の品質は使用による時間の経過による劣化等により低下いたします。

今、人と地球にやさしい車作りの中で車は生きています。人間と同様、車も健康管理は必要です。車は「走る凶器だ!」と言われないように、車のユーザー（使用者）が安心、安全に運転・運行が出来るように、車生活を応援させていただきたいと思えます。

環境問題は、自動車整備、販売に携わる事業者として避けては通る事の出来ない重要課題の一つであり、燃料消費の向上、二酸化炭素排出量の削減、有害排出ガス低減に向けたエコ車検・エコ整備・エコ商品の拡大や新エンジン搭載の低公害車の販売を推進いたします。また、廃棄物・水使用量の削減、廃棄物の適正処理など、企業活動のあらゆる面で地球環境の保全に配慮して行動いたします。

過去、丹後大震災の起こった当地域の防災・環境保全林として「鎮守の森の再生・植樹」の提案をしております。植樹（その土地にあった苗木を植える）は景観だけでなく、環境保全林として、特に二酸化炭素の削減に役立ちます。

このような地域に役立つ、環境にも好ましい活動を推進いたします。

今後とも、皆様と共に歩んでいきたいと社員一同心を新たにしております。

皆様のご来店を心よりお待ちしております。



環境経営方針

当社は、環境理念に基づき「地球環境を守ろう」をスローガンに、環境との共生・調和を最重要課題として認識し、自ら責任を持ち全従業員をあげて環境負荷の低減に配慮した活動に継続的に取り組みます。

その為に、以下の「行動方針」を定めます。

(1) 二酸化炭素排出量削減の推進（自社における削減）

事業所内の整理・整頓・清潔・清掃に留意します。事業活動における 電力・ガソリン・軽油などの削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。

また、そのために社有車における、アイドリングストップ、エコドライブやエコ整備（環境汚染防止整備）を推進します。又、エコカーの導入を推進します。

(2) 廃棄物排出量削減の推進

事業所から出る廃棄物を最小限にする努力をします。その為に、分別処理を推進します。

(3) 水使用量削減の推進

事業所内で使用する水使用量の削減により、総排水量の削減に努めます。

(4) エコ整備・エコ車検・エコカー販売・エコ商品販売の推進

（お客様における二酸化炭素の削減・環境負荷の低減）

自動車における燃費の向上による二酸化炭素の削減や、有害な排出ガスの削減を目ざし、エコ整備エコカーの販売・エコ商品販売を強力に推進します。

そのために、エコ整備・エコカーの有用性・エコ商品についての説明 技術やエコ整備技術の向上に努めます。

(5) リサイクル活動による省資源化の推進

省資源活動の一つとして、リサイクル自動車部品の使用を積極的に推進します。

(6) 環境関連法規制等の遵守

環境関連法規制等を遵守することを誓約します。

(7) 経営における課題とチャンスをつまえて、経営します。

(8) 環境経営の継続的改善を誓約する。

平成17年 7月 1日制定

平成20年 5月 1日改定

平成21年 7月 5日改定

平成22年 7月 7日改定

令和 2年 8月11日改定

全日本ロータス同友会
有限会社 丸中モータース商会
代表取締役社長 長島 由昇

(2)

事業の概要

- (1) 事業者名 有限会社 丸中モータース商会
代表者 長島 由昇
- (2) 所在地 京都府与謝郡与謝野町字上山田580-1
(駐車場) 京都府与謝郡与謝野町字上山田556、578-2
(洗車場) 京都府与謝郡与謝野町字上山田350
- (3) 環境管理責任者氏名、及び担当連絡先
環境管理責任者 長島 由昇
担当者 長島 由昇、糸井 尚美、藤原 由理
連絡先 電話 0772-42-4151 FAX 0772-43-0441
- (4) 事業規模 社員数 15名
社屋床面積 約600㎡
- (5) 事業内容 自動車販売・整備
- (6) 対象範囲 全組織・全活動
- (7) 事業年度 7月～翌年6月

EA2 I の実施体制

エコアクション2 I 取り組み実施体制

代表者：長島 由昇

- 1 環境管理責任者（必要時）の任命。
- 2 環境経営方針の制定。
- 3 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備。
- 4 環境経営システムの定期的見直しの実施。
- 5 社内情報の外部公開可否決定。

環境管理責任者：長島 由昇

- 1 環境経営システムの確立、実施及び維持するための処置。
- 2 環境経営システムの実施報告。
- 3 推進機関である、EA2 I EMS事務局の責任者として、事務局運営。
- 4 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者。

EA2 I EMS事務局：長島 由昇、糸井 尚美、藤原 由理

- ・環境管理者を補佐し、構成員の全員参加によるEA2 I の運営改善を推進する。
- ・EA2 I 関連文書の作成、改廃、保管、伝達の業務を推進する。

整備技術部門	
①CO ₂ 削減推進（ガソリン・軽油）	
②節水	
③産業廃棄物の削減・分別処理	
④エコ整備・エコ商品販売	
小西 信一	多賀野 修也
山本 俊介	小牧 勝彦
山崎 大輔	山南 沙羅
平林 大輝	西村 浩一

フロント部門	
①CO ₂ 削減推進（電気・灯油）	
②節水	
③産業廃棄物の削減・分別処理	
④エコ整備・エコ商品販売	
糸井 尚美	竹村 悠子
藤原 由理	長島 由季
藤原 茜	長島 由昇
廣瀬 凜音	

- ・当社は代表者の下に具体的取り組み事項を推進する。
- ・具体的取り組みの推進状況の調整は代表者と部門担当及び全体会議で話し合いまとめる。
- ・代表者は、エコアクション2 I の要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
- ・各部の担当者をはじめ全員、自らが会社組織の中でどのような役割を担っているかを確認し、「なぜやるのか?」「何をするのか?」「どのようにするのか?」を共有して実践、実証しよう。

◆環境経営目標・環境経営計画とその実績

(1) 現状と活動状況

当社の今年度と過去の実績は以下の通りです(19年度からEA21に取り組む)。

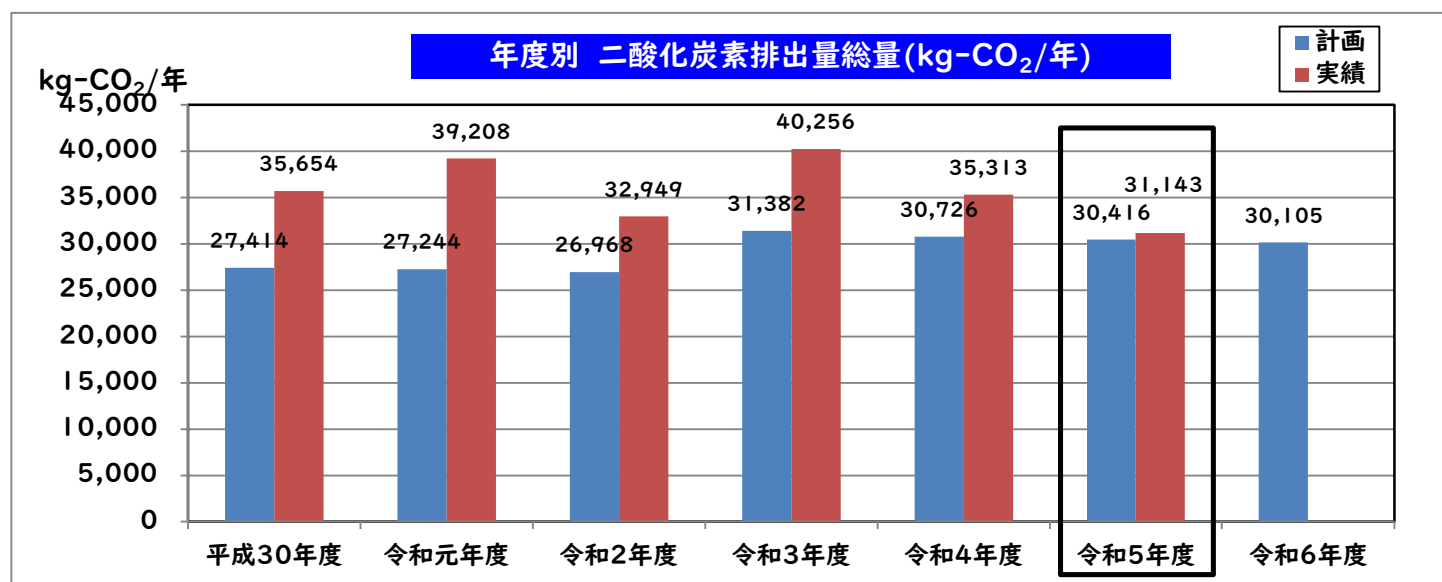
■二酸化炭素排出量総量

・CO₂排出係数(kg-CO₂/kWh)は、関西電力 0.318、格安電力 0.179を一定期間用いる。

(2019年度調整後排出係数)

・達成率(%)=[計画]/[実績]×100%

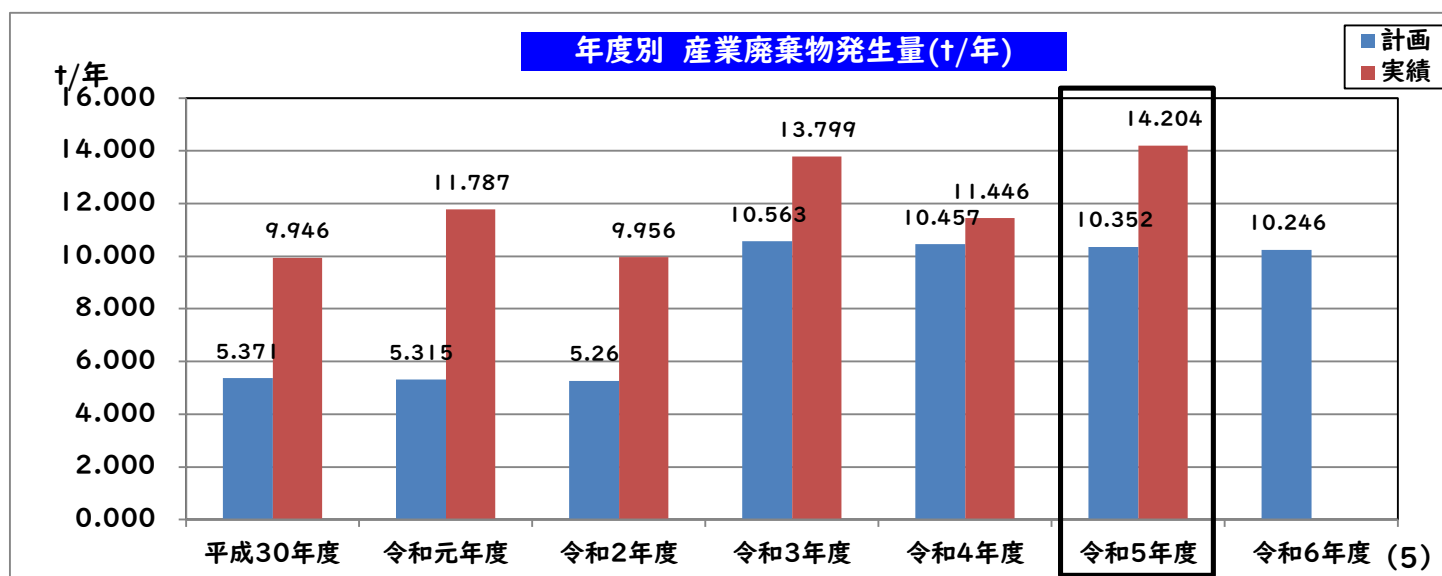
		12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	関西電力(株)	0.435	0.352	0.340	0.362	0.318	0.318	0.318
	格安電力(株)	0.694	0.557	0.198	0.540	0.179	0.179	0.179
二酸化炭素 排出量総量 (kg-CO ₂ /年)	計画	27,414	27,244	26,968	31,382	30,726	30,416	30,105
	実績	35,654	39,208	32,949	40,256	35,313	31,143	
	達成率	77%	69%	82%	78%	87%	98%	



■産業廃棄物発生量

・達成率(%)=[計画]/[実績]×100%

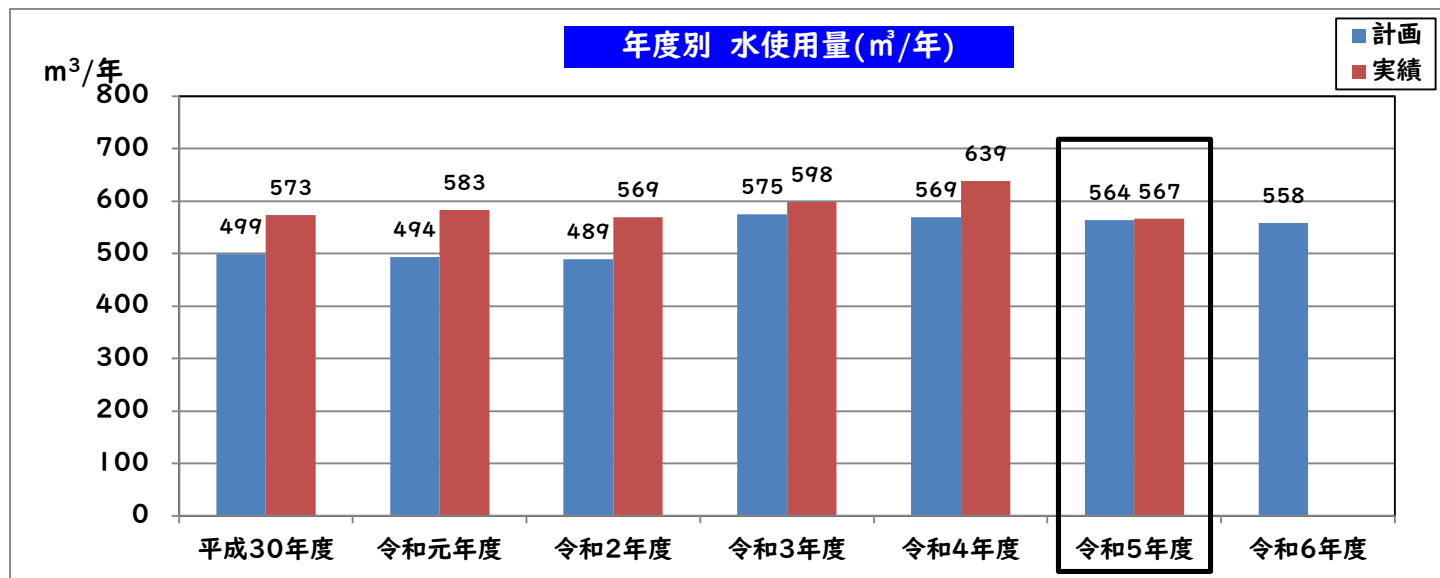
		12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
産業廃棄物 発生量 (t/年)	計画	5.371	5.315	5.26	10.563	10.457	10.352	10.246
	実績	9.946	11.787	9.956	13.799	11.446	14.204	
	達成率	54%	45%	53%	77%	91%	73%	



■水 使用量

・達成率(%)=[計画]/[実績]×100%

		12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
水 使用量 (m³/年)	計画	499	494	489	575	569	564	558
	実績	573	583	569	598	639	567	
	達成率	87%	85%	86%	96%	89%	99%	

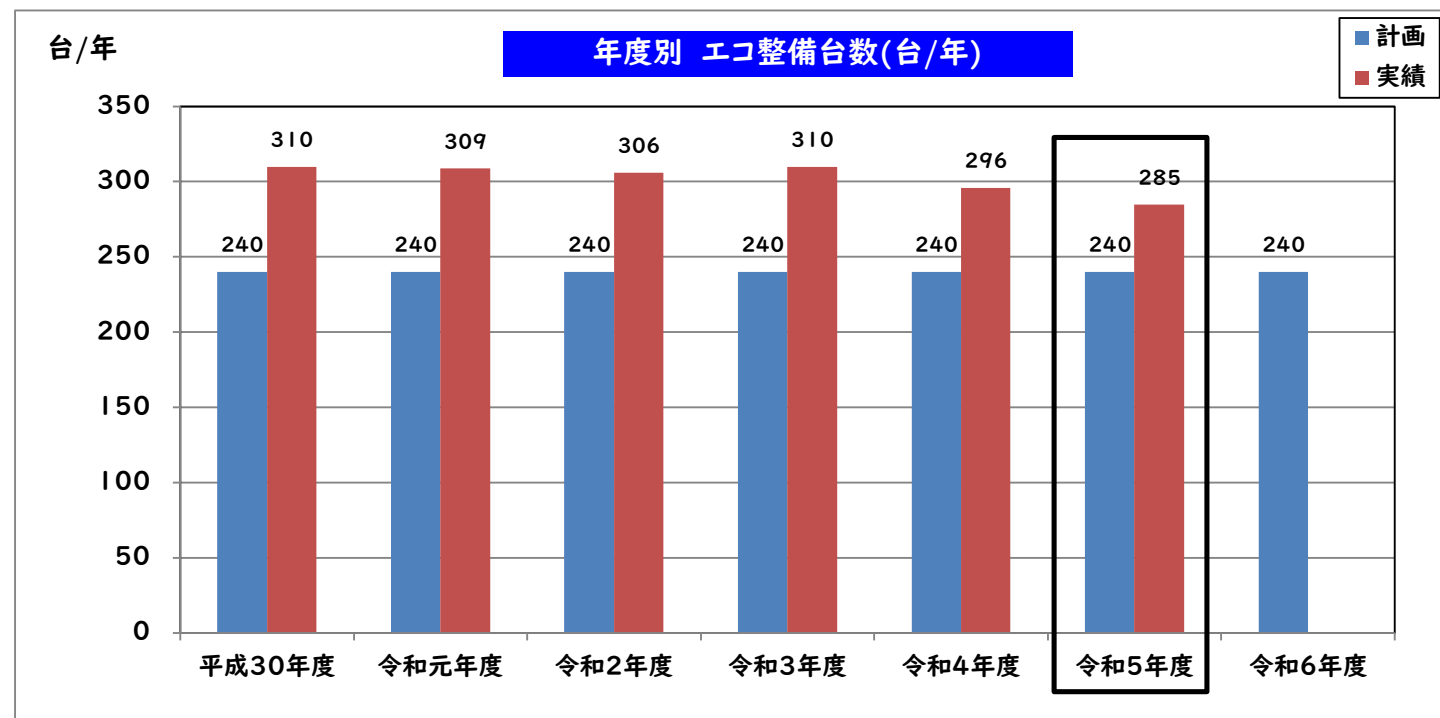


■エコ整備台数(エコ整備は20年度から実施)

・エコ整備の令和3年度以降の目標台数は、240台(20台/月)に固定し、これを最低値として推進します。

・達成率(%)=[実績]/[計画]×100%

		12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
エコ整備台数 (台/年)	計画	240	240	240	240	240	240	240
	実績	310	309	306	310	296	285	
	達成率	129%	129%	128%	129%	123%	119%	



◆令和5年度の運用結果と評価

(1) 目標と結果

令和5年度(令和5年7月～令和6年6月)の目標、結果、達成度

			令和5年度の目標	令和5年度の結果	達成度	評価
二酸化炭素排出量 ※1 (参考)		kg- CO ₂ /年	30,416	31,143	—	—
	電力	kWh	25,503	33,677	76%	×
	灯油	L	1,843	844	218%	○
	ガソリン	L	8,683	9,254	94%	△
	軽油	L	908	952	95%	△
産業廃棄物排出量		t/年	10.352	14.204	73%	×
水使用量		m ³ /年	564	567	99%	△
エコ整備		台/年	240	285	119%	○

注) 達成度=目標／結果。但し、エコ整備は、結果／目標。

※1 CO₂排出係数(kg-CO₂/kWh)は、関西電力 0.318、格安電力 0.179を一定期間用いる。

2022年1月7日公表の調整後排出係数

※2 評価について、△:80%以上100%未満は、是正は実施しない。

×:80%未満は、是正を実施する。

今後、お客様へのサービス提供方法のデジタル化を進めて行きます。その結果、社内の仕事もデジタル化され则认为ます。そして、新たに生まれた時間を、従業員・お客様へのために活用していきます。

(2) 令和4年度環境経営計画の評価

評価

1) 事務所等の二酸化炭素排出量削減(省エネに関する取組)(糸井 尚美)

- ①昼休み店舗の照明消灯(減灯)
- ②パソコンディスプレイ等の未使用時電源OFFの徹底。
- ③スチーム洗車機の未使用時電源OFF、消火の徹底。
- ④室内空調は、夏は28℃±1℃、冬は20℃±1℃とする。
- ⑤夏場 エアコンフィルター 1回/2週間の清掃。
- ⑥HEMSの活用。

○

○

○

○

○

○

2) 社用車の二酸化炭素排出量削減(省エネに関する取組)(小西 信一)

- ①社用車のエコドライブ推進。(整備車両の引き取り・納車の合理的な運行)
- ②アイドリング時間の削減、アクセルむらのない運転の推進。
- ③社用車のエコカー導入を推進。(デモカーリース)
- 昼休み工場内の照明消灯(減灯)

○

○

○

○

3) 廃棄物の排出量(リサイクルに関する取組)(小西 信一)

- ①産業廃棄物の分別の徹底・資源化。

○

4) 水使用量(節水の取組)(小西 信一)

- ①こまめな節水に努める。

○

5) エコ整備・エコカー販売の推進(山本 俊介)

- ①ユーザーへの積極的説明とパンフレット・チラシ・カタログの配布・郵送。
②春、夏、秋のキャンペーン実施。(エコカー、エコ商品、エコ整備予約等)

○
○

その他の環境活動計画(これらについては必要都度行うものとする)

- ①見積もり時にリサイクル部品の使用をお客様に推奨。(山本 俊介・山崎大輔)
②自社に関する環境関連法規の見直しと遵守評価。(長島 由昇)
③社員の環境への意識高揚のために研修会や会議の実施。(長島 由昇)
④地域への貢献と、二酸化炭素の削減のための植林活動の提案。(長島 由季)
⑤グリーン購入に関する商品の調査。(糸井 尚美)
⑥山陽製紙(株)様「PLEP!」による使用済コピー用紙の再利用。(長島 由昇)

○
○
△
△
○
○

◆今年度以降の目標について

令和4年度から、新たな中期計画目標をスタートさせています。

具体的には、平成30年度～令和2年度の3年間の平均値を新たな基準と定めて、これを令和3年度
仮目標といたしました。令和4年度以降は、毎年新基準から1%削減を目標として推進していきます。
ただし、エコ整備については別途定めました。

なお、新社屋完成等の変化があり、必要があれば見直すこととします。

本業において、AOS研究所「生涯取引」活動をさらに強化し、お客様の安心なカーライフを創造して
参ります。

■中期計画目標値(令和3年度～令和6年度)

年間総量			令和3年度目標 仮目標	令和4年度目標 1%削減	令和5年度目標 2%削減	令和6年度目標 3%削減 ※3
二酸化炭素排出量 ※1	kg- CO ₂	CO2排出量は、目標ではなく参考とします				
	電力	kWh	26,023	25,763	25,503	25,242
	灯油	L	1,881	1,862	1,843	1,825
	ガソリン	L	8,860	8,772	8,683	8,594
	軽油	L	927	917	908	899
産業廃棄物排出量		kg	10,563	10,457	10,352	10,246
水使用量		m ³	575	569	564	558
エコ整備 ※2		台	240	240	240	240

※1 CO₂排出係数(kg-CO₂/kWh)は、関西電力 0.318、格安電力 0.179を一定期間用いる。

2022年1月7日公表の調整後排出係数

※2 エコ整備の令和3年度以降の目標台数は、240台(20台/月)に固定し、これを最低値として
推進します。

※3 令和6年度終了時に、新中期計画を策定いたします。

- エコカー販売については、取得税・重量税の減免制度を活用し全社員で拡販を目指します。
- リサイクル部品の使用については見積もりの際に保証期間等も説明し、お客様に推奨する。
- グリーン購入については、購入時に商品を検討し、より積極的に推進いたします。

◆令和6年度主要な環境活動計画の内容 ()内は推進担当者

数値目標を達成するための取組

1) 事務所等の二酸化炭素排出量削減(省エネに関する取組)(糸井尚美・藤原茜)

- ①昼休み店舗の照明消灯(減灯)
- ②パソコンディスプレイ等の未使用時電源OFFの徹底。
- ③スチーム洗車機の未使用時電源OFF、消火の徹底。
- ④室内空調は、夏は28℃±1℃、冬は20℃±1℃とする。
- ⑤夏場 エアコンフィルター 1回/2週間 確認し、清掃する。
- ⑥HEMSの活用。

2) 社用車の二酸化炭素排出量削減(省エネに関する取組)(小西信一・藤原茜)

- ①社用車のエコドライブ推進。(整備車両の引き取り・納車の合理的な運行)
- ②アイドリング時間の削減、アクセルむらのない運転の推進。
- ③社用車のエコカー導入を推進。(新型車デモカーリースの活用)
- ④昼休み(12時~13時)工場内の照明消灯(減灯)

3) 廃棄物の排出量(リサイクルに関する取組)(小西信一・藤原茜)

- ①産業廃棄物の分別の徹底・資源化。

4) 水使用量(節水の取組)(小西信一・藤原茜)

- ①こまめな節水に努める。
- ②節水型自動式車両洗浄機に更新する。

5) エコ整備・エコカー販売の推進(長島由昇・藤原茜)

- ①ユーザーへの積極的説明とパンフレット・チラシ・カタログの配布・郵送。
- ②春、夏、秋のキャンペーン実施。(エコカー、エコ商品、エコ整備予約等)

その他の環境活動計画(これらについては必要都度行うものとする)

- ①見積もり時にリサイクル部品の使用をお客様に推奨。(山本俊介・山崎大輔)
- ②自社に関する環境関連法規の見直しと遵守評価。(長島由昇)
- ③社員の環境への意識高揚のために研修会や会議の実施。(長島由昇)
- ④地域への貢献と、二酸化炭素の削減のための植林活動の提案。(長島由季)
- ⑤「エコ商品購入・毎月集計表」への記入、及びグリーン購入に関する商品の調査。(藤原茜)
- ⑥山陽製紙(株)様「PLEP!」による使用済コピー用紙の再利用。(藤原茜)

◆環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規のまとめ

	項目	関連法規等		遵守状況
設備	自動式洗車機	水質汚濁防止法		届出済
	コンプレッサー	振動規制法 騒音規制法		該当せず
	スチーム洗浄機	大気汚染防止法		該当せず
	業務用エアコン	フロン排出抑制法	(1)簡易定期点検と記録 ----- (2)定期点検	適正に処理 ----- 該当せず
取扱品	危険物	消防法	少量危険物取扱	該当せず
	産業廃棄物	廃掃法	委託契約書	適正に処理
			マニフェスト	適正に処理
			保管場所	適合
	使用済自動車	自動車リサイクル法		適正に処理

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反や訴訟はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

消防法に基づく年次点検を令和4年4月実施済みです。次回は令和7年5月までに実施予定。

法規の遵守状況を実施済みで、法規の遵守状況をチェックし、問題がありません。

◆代表者による全体の評価と見直し・指示

(2024年7月9日実施)

「ロシアによるウクライナ進行」や「急激な円安の進行」により原油価格が高騰し、電気料金やガソリン・軽油だけでなく、エンジンオイルや各種部品へ価格転嫁が進み、さらなるコスト増を感じる一年となりました。

また、ダイハツ工業(株)による車両の安全性などに関する認証試験不正は、トヨタ自動車(株)やスズキ自動車(株)にまで波及し、多くの車種にて出荷停止になりデリバリーに大きな影響を受けました。ビッグモーターの保険金の不正請求問題は自動車整備業に対する不信感を高め、信頼を低下させ、強い逆風を受ける一年でもありました。

今年は1年間、新社屋を基軸とした事業推進しました。データ収集・評価を実施し、次年度の取組みに活かしていきます。

環境経営方針 変更なし。

環境経営目標 変更なし。

但し、目標未達項目が多く、今後データの収集・評価を行い原単位での評価などの導入を考える。

環境経営計画 変更なし。

実施体制 変更あり。環境事務局に藤原茜氏を担当させる。

①二酸化炭素排出量(温室効果ガスの削減)について

【電力】 新社屋完成後、1年を通じて推進しました。

①冬場暖房をエアコン主体となり、使用電力量増。

②新社屋も自家消費を目的とした太陽光発電の効果を実感。

【灯油】 ①灯油は、石油ファンヒーターの燃料として使用しています。

②新社屋の暖房がエアコン主体になり、使用量は大幅減となりました。

現在、整備技術部門の休憩エリアにて石油ファンヒーターを利用。

【軽油】 軽油は、カーレスキュー用車両と代車燃料として使用しています。

お客様へのお役立ちを第一に取り組んでいるため、事故や故障によるカーレスキュー出動は、しっかりと取り組んでいます。

2023年5月 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、徐々に外出機会が増え、レスキュー出動回数は増えて結果目標未達成となりました。

【ガソリン】 デモカーリースを利用したエコカーの導入、燃費の良い車両優先した社用車、代車の準備

そして、引取り・納車も効率を考えたルート選定の実施、燃費の良い運転に努めましたが、

ガソリン使用量増となってしまった。

新社屋の運用開始し、1年の実績を把握しました。これを踏まえて今後の取組みを検討していきたい。

当初より、電気使用量が増え、年間取組みの中で削減することが出来なかった。

1年間の目標の対して若干増加しました。

②産業廃棄物発生量について

1年間の目標の対して「73%」と計画未達も日頃の取組み成果を感じられる。

今後も、①お客様との接点強化商品であるオイル交換の定期的な入庫、②夏・冬タイヤについて、安全の観点から新品タイヤへの交換啓発のオペレーションは、しっかりと行っています。

日々、社員一人一人の分別回収をコツコツ取組みます。

③水使用量について

1年間の目標に対して「99%」とわずかながら、目標達成することはできませんでした。

日々、社員一人一人の節水をコツコツ取組みます。

④エコ整備・エコカー販売

AOS総合研究所「生涯取引」において、社員全員活動による12ヶ月点検のご案内・入庫活動が定着し、安定して入庫頂けるようになりました。「119%」と目標を達成することができました。

これまで同様継続して、新車販売において、スタッドレスタイヤとアルミホイールとセット販売する際は、環境に配慮されたアルミホイールをご提案・販売しています。(セット販売した場合、100%採用)

⑤全社員による環境教育等について

当社は、長年に渡り継続してきたEA21活動により、全社員環境に対する意識や活動は定着してきています。

一方、本業とのバランスを図りながら、数値目標達成に向けた効果的な活動を見出し、さらなるレベルアップを図りたいと思います。

今年度より、EA21 EMS事務局において、藤原茜を選任担当者とし、全体とフロント部門を主体的に取組み、整備技術部門についても、担当者として連携して取り組んでいきます。

また、本業においては、AOS総合研究所「生涯取引」活動を愚直に実践することにより、さらなる発展を成し遂げたい。この思いは変わりません。